

SS等における燃料の保管容量を増強し、 災害時の安定的な燃料供給体制を構築する

【対策】68 SS等の災害対応能力強化対策

対策概要：災害時においても、地域住民や災害対応車両等への安定的な燃料供給を確保するため、災害時燃料供給訓練やSSの地下タンクの入換・大型化等を支援する。

府省庁名：経済産業省

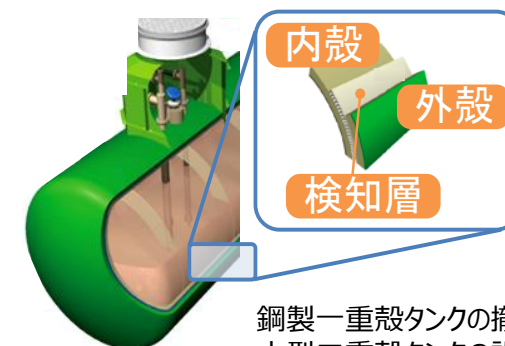
【事例】SS等の災害対応能力強化対策

- 実施主体：揮発油販売業者等
- 実施場所：全国
- 事業概要：災害時における信号の停止や道路の損壊等の交通網の混乱による物流停滞リスクに対処するため、全国のSS等において地下タンクの入換・大型化やペーパー回収設備※の整備を行い、十分な燃料在庫の確保対策を実施している。

※ 給油時等に空気中に揮発するガソリン留分を回収する設備

- 事業費：約6.7億円の内数（令和5年度予算分）
- 効果：SS等において燃料在庫の確保対策を実施することで、地震等の災害時におけるより安定的な燃料供給体制が構築され、地域のエネルギー供給拠点として機能する。これにより、被災地の燃料不足を防止することが見込まれる。

地下タンクの入換・大型化



鋼製一重殻タンクの撤去及び大型二重殻タンクの設置

ペーパー回収設備導入

